

平成27年8月27日

運営協議会委員各位

学校運営協議会会長 工藤 智宏

平成27年度 第2回高森東学園学校運営協議会会議録

下記のとおりご報告申し上げます。

記

1. 日時：平成27年8月27日（木）19：30～
2. 場所：高森東小学校図書室
3. 出席者等  
運営協議会委員11名  
麻生先生、堺審議員、学校教育係本田、春田事務職員、各校教頭、高森東CS担当職員、  
佐藤事務職員 計20名  
欠席（江藤明德、瀬井純雄、西田忠洋、甲斐富美子）
4. 議題
  - 1 開会
  - 2 会長あいさつ
  - 3 協議
    - (1) 前回議事録確認
    - (2) 小中一貫教育を実施することを目的とする義務教育学校について
      - (ア) 義務教育学校についての説明（西嶋）
      - (イ) 義務教育学校を見据えて今後の東学園について  
Aグループ（工藤・伊東・児玉・岩下）の意見
        - ㊦東学園をどのような学校にしていきたいか。
          - ・子ども、先生がいつも笑顔でいられる学校
          - ・友だちに自分のことが言える
          - ・特技が活かせる
          - ・地域住民が入りやすい学校
          - ・色々な人とふれあえる
        - ㊧そのためにもどのようなことに取り組んでいくのか。
          - ・学校地域家庭の連携を重視。そのための具体的な実践として、挨拶を大事にしたい。
          - ・ICT授業の向上

㊦その取組のために学校運営協議会としてはどのようなことができるのか。

- ・決め細やかな対応ができる先生
- ・専門性の高い先生が必要
- ・地域住民へのG T依頼
- ・ポイントチャンネルの活用
- ・子ども、学校の風景を発信

Bグループ（城井・白石久・甲斐哲・福田）の意見

㊦東学園をどのような学校にしていきたいか。

- ①子どもたちの素直な心を持ち続ける育成
- ②地域に愛される、地域と一体となれる子どもの育成
- ③少人数の強みを活かせる学校

㊧そのためにどのようなことに取り組んでいくのか。

①について

- ・子どもが感動を覚える取り組み
- ・誇りを持てる教育
- ・日々の活動の充実
- ・情報発信
- ・たかもりふるさと学の活用

②について

- ・地域が学校に興味を持つ
- ・世代を越えて様々な意見を徴する
- ・地域住民の生き生きとした姿を見せる、教える

③について

- ・教師の指導力の向上、I C Tの推進
- ・塾開設
- ・大人も社会の中で活着ているということを示す

㊦その取組のために学校運営協議会としてはどのようなことができるのか。

①

- ・子どもが感動する研修を企画
- ・先進地の視察、交流
- ・地元のG T活用

②

- ・高森東学園の存在の周知、説明

③

- ・常に将来を見据えた考え方、行動をサポートする教育を行う

Cグループ（本田千・本田人・白石豊・西島）の意見

㊦東学園をどのような学校にしていきたいか。

- ・義務教育学校であることを活かした、運動面、学力面においても強みのある学校
- ・地域と密着した学校にし、母校と思える学校にしたい。
- ・少人数でもやっていける学校づくり

㊧そのためにどのようなことに取り組んでいくのか。

- ・指導力、専門知識を持った教員の活用
- ・外部指導員の活用
- ・地域の集まる施設、活動の充実
- ・保護者仲良く
- ・校舎、施設の充実

㊨その取組のために学校運営協議会としてはどのようなことができるのか。

- ・人事に係る要望をしていく
- ・地域イベントの開催企画
- ・行事等（愛好作業等）補助の外部以来などをする
- ・ハード面の要望をしていく

（ウ）組織づくりについて（今回の意見を受けて、次回）

（3）教職員の任用に関しての意見と学校評価について

（4）その他

4 連絡事項

- ・郷土料理教室の合同開催をしてはどうか（白石久）

5 閉会

以上